

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2002年5月21日

先週の農作業可能日数は週平均 6.8 日であった。北中央地区の諸郡の降水量不足は深刻な状況と成っている。モロー郡にて降水が有り播種されたばかりの春小麦には有効であったが、冬小麦の状況を改善するには至らなかった。冬小麦の土壌水分不足によるストレスが各地の圃場で報告されている。特にモロー、シャーマン郡の冬小麦並びに土壌の浅い圃場の小麦の状態は前週より悪化している。冬小麦は平年（5年平均）より早いペースで出穂期に入っているが、土壌水分不足により正常な栄養成長をしないまま生殖成長期に突入している。冬小麦圃場の 28% が出穂しており、これは昨年同期：9%、平年：11% に比し極めて早いペースと言える。

2002年5月19日現在：

土壌水分状況：

Topsoil (%)	20	40	39	1
Subsoil (%)	21	33	45	1

小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat (%)	21	29	32	16	2
Spring wheat (%)	na	na	na	na	na

作物進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5 -yr Ave.
Spring wheat Emerged (%)	99	95	100	na
Winter wheat Headed (%)	28	24	9	11

Source: Oregon Agricultural Statistics Services